

6 秋田で子育て

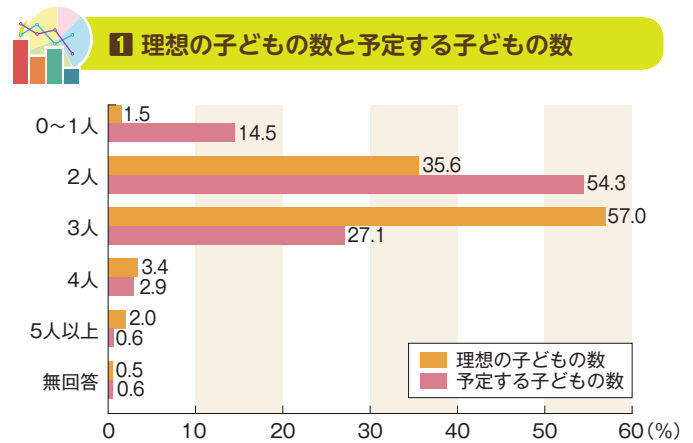
秋田県では、子育てを支える制度がいろいろ整えられてきています。子育て支援の仕組みは全国で一律に実施されているものばかりでなく、地域によって異なる支援も行われています。将来子育てをするときには、こうした制度などを考慮することも大切です。

1 理想の子どもの数・予定する子どもの数

将来のライフプランを考えるうえで、結婚をするかしないかとともに、子どもを持つかどうか、持つとすればいつ、何人かということも大きな事案です。現実には希望どおりにいかない面(1)(2)もありますが、自分の理想について考えてみましょう。

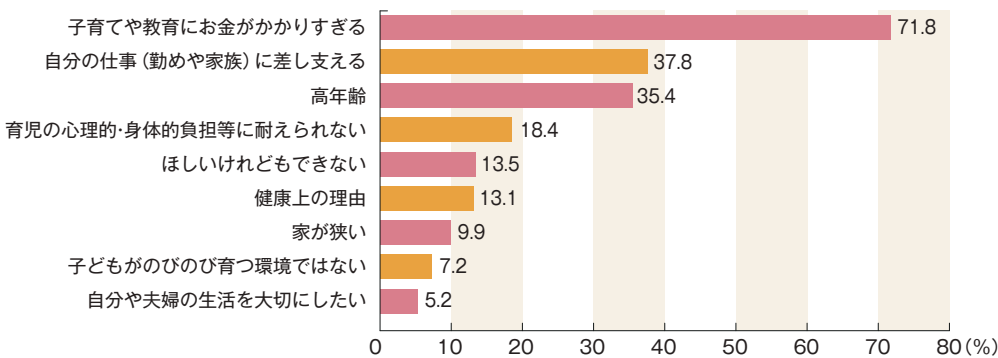
幼稚園・保育所から高校生までの子どもの保護者へのアンケートでは、理想とする子どもの数は「3人」という答えが最も多く、50%を超えています。一方で、現在の子どもの数を含めて実際に何人の子どものもうけるつもりかを尋ねると「2人」という答えが最も多くなります。(1)

こうした差が生じる理由として、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」「自分の仕事に差し支える」「高年齢」といった回答が上位を占めています。(2)



※予定する子どもの数は現在の子どもの数を含む
資料：秋田県人口問題対策課「少子化・子育て施策等に関する調査(平成27年)」

2 理想とする子どもの人数が持てないと思う理由



※複数回答
資料：秋田県人口問題対策課「少子化・子育て施策等に関する調査(平成27年)」



考えよう

- あなたは、子どもを持ちたいと考えていますか?持ちたい場合は、理想の人数やそう考える理由を、持ちたくない場合はその理由を考えてみましょう。
- 子どもを持つとするとするうえで、あなたにとって気になることや不安なこと、心配なことは何ですか?
- 「現実の子どもの数が理想の子どもの数よりも少ない理由」(上図2)で上位になっている理由に対して、どのような支援が必要だと思いますか?